

船舶事故調査報告書

平成21年12月17日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委 員 横 山 鐵 男（部会長）
 委 員 山 本 哲 也
 委 員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員負傷	
発生日時	平成20年10月22日 05時05分ごろ	
発生場所	宮崎県都農町東方沖 都農港南防波堤灯台から真方位103° 11.1海里付近 （概位 北緯32° 12.6′ 東経131° 47.3′）	
事故調査の経過	平成20年11月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 乗組員等に関する情報	漁船 進高丸、19トン MZ2-3160（漁船登録番号）、進高丸有限会社 17.30m(Lr)×5.31m×1.72m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数190、平成元年9月3日 船長 男性 60歳 一級小型船舶操縦士 免許登録日 昭和50年4月25日 免許証交付日 平成11年7月28日 （平成17年1月10日まで有効） 甲板員A 男性 53歳 操縦免許 なし
死傷者等	負傷 1人（甲板員A）	
損傷	なし	
事故の経過	本船は、中型まき網漁業の網船で、平成20年10月21日19時00分ごろ、船長ほか9人が乗り組み、附属船4隻とともに宮崎県宮崎港を出港し、都農町沖の漁場に向かい、翌22日04時30分ごろ網を投入した。 本船は、04時40分ごろからまき網下部の丸環に通したワイヤーロープを巻き上げて網の底を絞り込むとともに、甲板員Aが船首部のキャプスタン（網綱の巻揚機）により、まき網上部の浮子綱を巻き上げてまき網全体を絞り込んだ。 05時00分ごろ、丸環が船上に取り込まれ、他の乗組員により右舷に設置されたサイドローラーで巻き網の揚収作業が開始されたが、甲板員Aの担当している浮子綱の巻き込みが遅れていた。 キャプスタンの右舷側で作業を行っていた甲板員Aは、05時05分ごろ、回転数を調整するためキャプスタンの船首側にある操作レバーに右手を伸ばした際、船体が横波で揺れて前のめりの状態となり、左手をキャブ	

	<p>スタンと浮子綱の間に挟み込んで、左腕から胸付近までキャプスタンに巻き込まれた。</p> <p>操舵室で操船に当たっていた船長は、悲鳴を聞いて事故に気づき、直ちに油圧ポンプのメインスイッチを切ってキャプスタンの回転を止め、事故の状況が無線で附属船に知らせ、救急車の手配を行った。</p> <p>甲板員Aは、附属船で宮崎県門川町門川漁港へ運ばれて救急車により病院に搬送されたが、左小指環指切断、左肘脱臼骨折等の重傷を負った。</p>								
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西、風力 5～6m/s</p> <p>海象：波高 1～1.5m、うねりあり</p>								
その他の事項	<p>甲板員Aは、平成19年8月から本船に乗船しており、船上での作業経験は1年2か月程度であった。</p> <p>甲板員Aは、担当している浮子綱の巻き込み作業が遅れていたため、慌てていた。</p> <p>キャプスタンは、高さ約42cm、直径約32cmの鋼製円筒形をしており、キャプスタンに直径約38mmのクレモナ製の浮子綱を巻き付けて取り込んでいた。</p>								
分析	<table border="1"> <tr> <td>乗組員等の関与</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>船体・機関等の関与</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>気象・海象の関与</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>判明した事項の解析</td> <td>甲板員Aは、浮子綱をキャプスタンで巻き込む作業中、船体の動揺でバランスを崩し、左手をキャプスタンと浮子綱の間に挟み込んで、キャプスタンに巻き込まれたものと考えられる。</td> </tr> </table>	乗組員等の関与	あり	船体・機関等の関与	なし	気象・海象の関与	あり	判明した事項の解析	甲板員Aは、浮子綱をキャプスタンで巻き込む作業中、船体の動揺でバランスを崩し、左手をキャプスタンと浮子綱の間に挟み込んで、キャプスタンに巻き込まれたものと考えられる。
乗組員等の関与	あり								
船体・機関等の関与	なし								
気象・海象の関与	あり								
判明した事項の解析	甲板員Aは、浮子綱をキャプスタンで巻き込む作業中、船体の動揺でバランスを崩し、左手をキャプスタンと浮子綱の間に挟み込んで、キャプスタンに巻き込まれたものと考えられる。								
原因	<p>本事故は、本船が都農町東方沖において操業中、甲板員Aが、船体の動揺でバランスを崩し、左手をキャプスタンと浮子綱の間に挟み込んだため、キャプスタンに巻き込まれたことにより発生したものと考えられる。</p>								